

試運転



2019年1月28日：リアス線開業まで54日となったこの日、試運転が始まった。沿線（山田町豊間根）での住宅火災とその消火活動（住民は避難して無事）のため、予定より40分程度遅れて宮古駅を出発した。写真は宮古駅の次の駅、津軽石駅に入線する車両。



津軽石駅に停車中の車両の様子。ドアの脇にあるLEDディスプレイには「この列車は 試運転 です。」と表示されていた。



三陸鉄道
リアス線
新大槌駅

1

三陸鉄道
リアス線
新大槌駅

2

試運転

三陸鉄道 雫とひよろたん鳥の町

大槌

おまつち ŌTSUCHI

百里吉里 新住居

KOSKRI UNOSUMAI

Suzukibiki Yuki

snowysnow.sakura.ne.jp

大槌駅落成



2月1日：大槌駅観光交流施設の落成式が行われた。施設の管理は指定管理者となった「一般社団法人大槌町観光交流協会」が行う。駅では切符の販売、お土産物の販売のほか、ラーメン屋（夜は居酒屋営業の予定）も入居する。落成式が始まる前、強風の影響で試運転車両（二両編成）が大槌駅で長時間停車したため、落成を祝っているかのように見えた。右端の人々は停止した車両から降りてきた職員。

COMITIA127ペーパー

雪待終夜としてCOMITIAでペーパーを配ったことがないと思うので、これが初めてのペーパーという方もいらっしゃるかもしれません。こんにちは。サークル雪待終夜の鈴響雪冬です。このたびは当スペースにお越し頂き、ありがとうございます。

普段の雪待終夜のペーパーはB5サイズの紙を巻き三つ折りしたモノクロのペーパーですので、今回は特別仕様になっています。というのも、1月28日に三陸鉄道リアス線（旧JR山田線、海側区間）の試運転が始まりましたが、この写真をどうにかして届けたい、そうだペーパーにすればいいんだ、という安易な発想でこのような形にしてみました。「大槌町 ここは復興最前線（2017）」の巻末に挟んでいただければ、170ページの写真集を174ページにすることができます！（それがやりたかっただけ）

やりたかったことはこのペーパーがすべてですし、そろそろ告知に移りたいので今回はこの辺でお別れです。またどこかのイベントでお目にかかりましょう！（^-）。oO(8月ぐらいかなあ…)



電子書籍化のお知らせ

「大槌町 ここは復興最前線」シリーズの2015年度版と2016年度版は在庫を切らしていましたが、2017を発行するに当たり、電子書籍を作成しました。

pixivの「BOOTH」や角川の「BOOK☆WALKER」、楽天の「Kobo」、Amazonの「Kindle」など、国内13の電子書籍ストアで購入することができます。

詳細はウェブサイトをご覧ください。



<https://snowysnow.sakura.ne.jp/>